

◆外国人児童生徒の総合的な学習支援事業◆

# 外国人児童生徒のための JSL対話型アセスメント

ディー

エル

エー

# DLA

Dialogic Language Assessment  
for Japanese as a Second Language



文部科学省初等中等教育局国際教育課

## はじめに

平成 24 年 5 月現在、公立の小・中・高等学校等には日本語指導が必要な外国人児童生徒が 27,013 人、また日本国籍を持つ日本語指導が必要な児童生徒は 6,171 人在籍しています。これらの日本語指導が必要な子どもたちは、日常会話が十分にできない児童生徒だけではなく、日常会話ができても学年相当の学習言語能力が不足し、学習活動への参加に支障が生じている児童生徒も含みます。

しかしながら、日本語指導の目安となる日本語能力をどのように把握するかは長年の課題であり、特に子どもを対象にした日本語能力の測定については、各地域で工夫されているものの測定方法の開発が求められています。

これらの御意見を受けて文部科学省では、平成 22 年度から 24 年度にかけて「外国人児童生徒の総合的な学習支援事業」を実施し、そのひとつとして国立大学法人東京外国語大学に委託して「学校において利用可能な日本語能力の測定方法」の開発を行ってまいりました。数多くのモニター調査と学校や教育委員会でのヒアリングを重ね、児童生徒の日本語能力を把握するだけでなく、その後の指導方針を検討する際の参考にもしていただけける資料を揃えていただきました。

本書を各学校における日本語指導の場で御活用いただき、日本語指導が必要な児童生徒へのよりきめ細かな指導・支援にお役立ていただければ幸いです。なお、本測定方法は当省ホームページにも掲載する予定ですので、併せて御活用ください。

末尾となりましたが、本書の作成に当たり御尽力を賜りました関係の皆様に深く御礼申し上げます。

平成 26 年 1 月

文部科学省初等中等教育局国際教育課長  
神代 浩

# 外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント

## 目 次

はじめに

### 理論編 －DLAとは－

#### 序章 「日本語能力測定方法の開発」の背景と目的

1. 事業の趣旨	3
2. 外国人児童生徒の日本語能力測定方法を開発する上での諸課題	3
3. 外国人児童生徒の言語能力観	3
4. CF（会話の流暢度）・DLS（弁別的言語能力）・ALP（学習言語能力）の連続性と個別性	4
5. 開発から生まれた実感	5

#### 第1章 「対話型アセスメント（略称「DLA」）」の概要

1. 「対話型アセスメント（「DLA」）」のねらい	6
2. 「DLA」の特徴	6
3. 「DLA」を使用する際の基本的なステップ	6
4. 「DLA」が測定しようとしている言語能力	7
5. 「DLA」の構成と内容	7
6. 「DLA」の進め方	9
7. 「DLA」と日本語能力の判定方法	9
8. 「DLA」の流れ	10
9. 「DLA」の評価における機能と精度	12

### 実践編 －「DLA」実践のために－

#### 第2章 「DLA〈はじめの一歩〉」

1. 〈はじめの一歩〉概要	15
2. 〈はじめの一歩〉実践ガイド	18
3. 〈はじめの一歩〉診断シート	20

#### 第3章 「DLA〈話す〉」

1. 〈話す〉概要	23
2. 〈話す〉実践ガイド	28

3. <話す> 診断シート	31
<b>第4章 「DLA &lt;読む&gt;」</b>	
1. <読む> 概要	37
2. <読む> 実践ガイド	42
3. <読む> 診断シート	63
<b>第5章 「DLA &lt;書く&gt;」</b>	
1. <書く> 概要	73
2. <書く> 実践ガイド	80
3. <書く> 診断シート	96
<b>第6章 「DLA &lt;聴く&gt;」</b>	
1. <聴く> 概要	105
2. <聴く> 実践ガイド	111
3. <聴く> 診断シート	127
<b>第7章 測定の記録と評価・個人指導記録</b>	137

## 評価キット

### 別冊資料

1. DLA <読む> レベル別テキスト
2. DLA <聴く> 映像 (DVD)

### 巻末資料

1. DLA <はじめの一歩> 語彙カード
2. DLA <話す> 基礎カード・タスクカード・認知カード
3. DLA <書く> 作文課題
4. DLA <書く> 作文用紙
5. DLA <聴く> 映像 (DVD) スクリプト
6. DLA <聴く> 視覚補助教材 (キーワード)

## その他

FAQ	178
主要参考文献	185
協力者一覧	188